

第7次宮崎市行財政改革大綱実施計画調書

分類番号	大	1	効率的で信頼される行政経営	
	中	3	市民の視点に立った行政サービスの確立	
	小	20	職員の資質向上	
	No.	78	所管課	健康管理部健康支援課
実施項目名	感染症危機管理体制の充実・強化のための職員研修の推進			
現状	<p>新型インフルエンザをはじめとする重大な感染症の患者が発生した場合などに備えて、保健所の全職員が対応できるよう、感染症危機管理体制に関する研修などを実施している。職務の都合上、研修などに参加できない職員には、資料を配布し徹底を図っている。</p>			
課題	<p>職員が、迅速かつ的確に、感染拡大防止のための調査や健康観察などを行い、感染の急速な拡大や大規模な流行への発展を回避できるよう、さらなる職員研修等を実施する必要がある。</p>			
具体的な取組内容	<p>①感染症危機管理研修の実施(年2回) ②市保健所における感染症対応体制についての確認 ③感染症発生時の保健所職員の出勤に備えたPPE着脱訓練の実施</p>			
期待される効果	<p>・重大な感染症の発生した場合に、保健所職員が迅速かつ的確に対応することができる。</p>			
実施スケジュール		平成25年度	平成26年度	平成27年度
①感染症危機管理研修(講話)		実施	⇒	⇒
②宮崎市保健所における感染症対応体制についての確認		実施	⇒	⇒
③感染症発生時の出勤に備えたPPE(防護服)着脱訓練		実施	⇒	⇒
備考 (用語の説明)	PPE:個人用防護具(ガウン・手袋・マスク・ゴーグル・キャップ・シューズカバー等)			

各年度の取組概要		△：準備、検討 ○：一部実施、方針決定 ◎：実施完了、効果継続	
25年度	中間	○	①感染症危機管理研修の実施(年2回) H25年5月1日・10日実施 保健所全職員対象(保健センター含む) ●職員研修参加率(97÷107×100) 90.7% ②市保健所における感染症対応体制についての確認 インフルエンザ特措法について講義 感染症対応体制について講義と各自の役割確認 ③感染症発生時の保健所職員の出勤に備えたPPE着脱訓練の実施 ペアでのPPE着脱実施
	最終	◎	5月に研修完了。今年度は、PPE着脱の必要な感染症の発生はなかったが、検体搬送を行う感染症の発生では、市保健所における感染症対応体制に基づき、迅速に対応を行うことが出来、感染が拡大することはなかった。日頃の研修の成果が発揮されたものと思う。
26年度	中間	○	①感染症危機管理研修の実施(2回) H26年4月28日・5月1日実施 保健所全職員対象(保健センター含む) ●職員研修参加率(99÷103×100) 96.1% ②市保健所における感染症対応体制についての確認 新型インフルエンザ等対策行動計画の概要について 宮崎市感染症対策会議、感染症危機管理対策チームについて ③感染症発生時の保健所職員の出勤に備えたPPE着脱訓練の実施 ペアでのPPE着脱実施
	最終	◎	5月に研修完了。 今年度は、エボラ出血熱疑い患者発生に備え、医療機関を対象にした研修や関係機関との合同訓練を実施したが、研修内容の検証、成果の確認を行うことができた。また、12月末の鳥インフルエンザ発生において、感染症危機管理の対応にいかすことができた。
27年度	中間	○	①感染症危機管理研修の実施(2回) H27年5月8日・5月13日実施 保健所全職員対象(保健センター含む) ●職員研修参加率(117÷122×100) 95.9% ②市保健所における感染症対応体制についての確認 新型インフルエンザ等対策行動計画の概要について 宮崎市感染症対策会議、感染症危機管理対策チームについて ③感染症発生時の対応について ・ペアでのPPE着脱実施 ・患者搬送方法の実践(救急車、アイソレーターの取扱い)
	最終	◎	①感染症危機管理研修 ②対応体制の確認 ③PPE着脱訓練 ・MERS対応訓練:H27年6月19日実施、職員45名出席 ①感染症危機管理研修 ②対応体制の確認 ・ジカウイルス感染症:H28年2月5日実施、職員70名出席 2月に研修完了。 今年度は、PPE着脱の必要な重大な感染症の発生はなかったが、新たな感染症の発生に備え、迅速に必要な研修を行うことができた。

得られた効果		[効果額]=不要額(取組みにより不要となった(生み出された)額)-必要額(取組みに要した額)				
	25年度					
		効果額内訳	不要額		積算内訳	
			必要額		積算内訳	
	26年度					
		効果額内訳	不要額		積算内訳	
			必要額		積算内訳	
27年度						
	効果額内訳	不要額		積算内訳		
		必要額		積算内訳		